

「富富富」は今年で6年目となり、順調に需要が伸びています。「富富富」は、近年の高温条件下でも高い品質を得られますが、収量を求め過ぎると、品質や食味、収量の低下につながります。

栽培マニュアルに基づいた栽培管理を徹底し、県を代表するブランド米として「富富富」生産に取り組みましょう。

みんなが一丸となって
本県を代表するブランド米
に育てよう!!



1 育苗管理

- ・育苗日数が長く葉齢の進んだ**老化苗を移植すると、初期分けつの発生が少なくなります。**活力の高い苗に仕上げるため、**育苗日数(播種日から田植日)は18～21日を目安**にしましょう。
- ・富富富はコシヒカリに比べて芽の伸長速度が遅いため、**コシヒカリに比べて1～2日長く浸種**しましょう。
- ・育苗期間が高温傾向のため、**積極的に換気を行い、**がっしりとした苗に仕上げましょう。

2 適切な田植作業の実施

流通基準違反は、県全体の信用失墜につながります。必ず守りましょう。

- ・田植時期が早いほど乳白・心白粒が発生し、品質・食味総合値が低下する傾向にあります。品質・食味の高位安定化のため、田植は**5月15日を中心(5月6～20日)に実施**しましょう。
- ・**乾燥調製作業をJAに委託する場合は、5月18～20日頃の田植**えとしてください。
- ・苗を購入している場合は、**種子消毒剤と苗箱施薬剤の有無を必ず確認**しましょう。
- ・**栽植株数70株/坪以上、植付本数3～4本/株、植付深さ3cm程度**となるよう田植機を調整しましょう。
- ・代かきを行う際は、田面を均平にすることを意識し、田植後に苗が水没することを防ぎましょう。

<流通基準>

- ・検査等級：1等
- ・化学合成農薬の成分使用回数：12以内

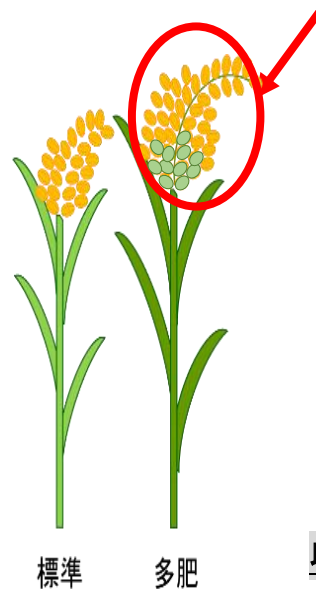
<品質目標>

- ・玄米水分 … 14.5～15.0%
- ・玄米蛋白含有率(水分15%換算値) … 6.4%以下

3 適正な施肥

- ・施肥窒素量が多いと過剰籾数となり、登熟がバラつく、くず米が多くなるなど、**収量や品質、食味が低下**します。
- ・施肥窒素量は、収量レベル540kg/10aの**コシヒカリの2割減を基本とし、過剰とならないように**しましょう。
- ・また、R4年産の**玄米蛋白含有率が適正(6.4%以下)**であった生産者は、**67%**(n=100)でした。**R4年産で玄米蛋白含有率が6.5%以上の方は、必ず減肥**しましょう。

△施肥窒素量が多いと → **過剰籾数**となり、



- ・登熟のバラツキが大きくなる
- ・くず米が多く、収量は増加しない
- ・乳白、心白粒、青未熟粒が増える
- ・玄米蛋白含有率が高くなる

↓
収量・品質、食味が低下

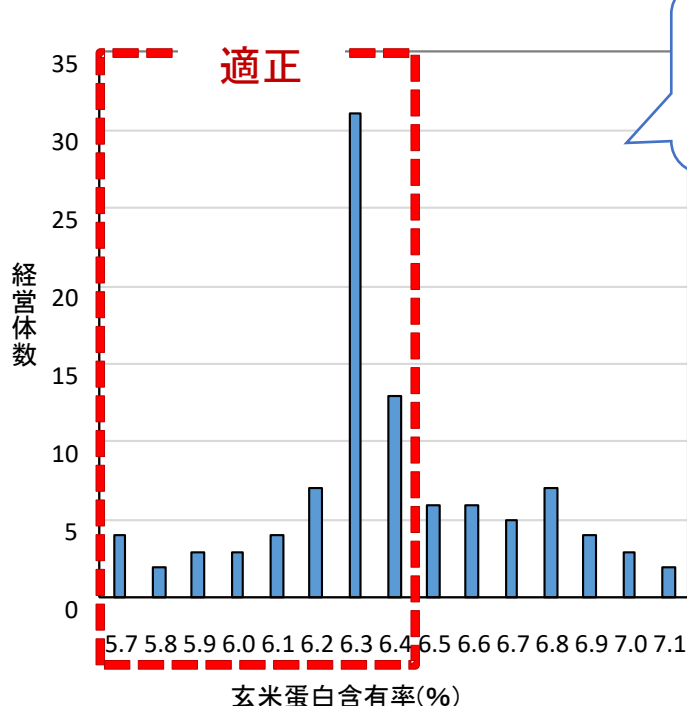


図 玄米蛋白含有率の分布(R4年)

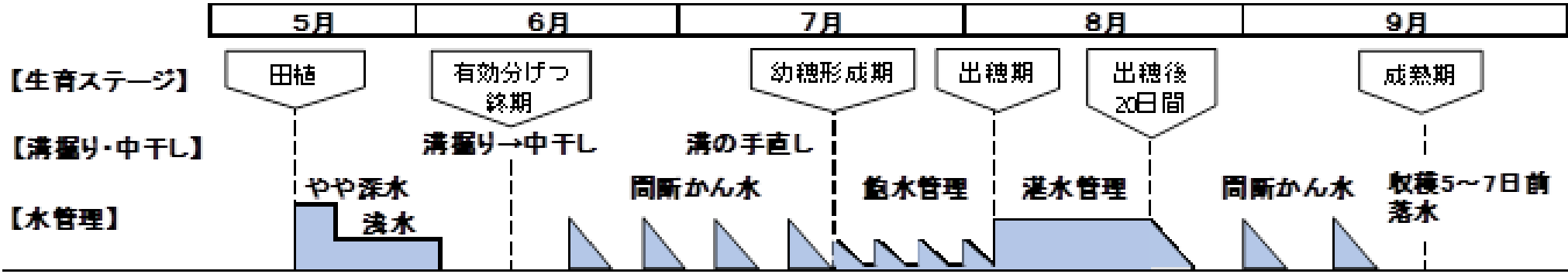
表 施肥基準

土壌区分	基肥一発体系		分施肥体系	
	肥料名	施肥量	肥料名	施肥量
砂壌土	富富富専用 全量基肥肥料 (21-10-19)	30kg/10a	基肥 206 (12-20-16)	27kg/10a
壤土 黒ボク土		25kg/10a		21kg/10a
粘質土		22kg/10a		19kg/10a

4 水管理のポイント

- ・田植後3日間程度はやや深水で活着を促進し、活着後は浅水管理により、分げつの発生を促進しましょう。
- ・無効分げつの抑制、根圏の発達促進、適正な葉色への誘導のため、田植後4週間までに中干しを開始しましょう。
- ・適正籾数に誘導するため、幼穂形成期までは落水期間が長めの間断かん水を行きましょう。
- ・稲体や根の健全化のため、幼穂形成期から出穂期まで飽水管理を行きましょう。

《生育期間を通しての水管理のイメージ》



5 化学合成農薬の使用について

- ・富富富は「**化学合成農薬の成分使用回数は12回以内**」を厳守する必要があります。田植前に今一度使用状況、使用予定を確認しましょう。
- ・**農薬の使用にあたっては登録内容を遵守**するとともに、**必ず成分数を確認**しましょう。（防除体系は別紙参照）
- ・除草剤の効果上げるため、**除草剤散布後5日間は5cm程度の水深を保ち散布後7日間は落水しない**でください。

○現在までの化学合成農薬の使用状況と今後の使用予定を下欄に記入しましょう。

- ・「生産計画・記録簿」に記入した内容から変更がないか確認しましょう。
- ・成分数は「令和5年産 富富富病害虫・雑草防除について」や農薬のラベル、農林水産省のHP「農薬登録情報提供システム」(<https://pesticide.maff.go.jp/>)を参考に記入してください。
- ・紋枯病防除にバリダシン粉剤DL、バリダシン液剤を使用した場合は、成分数に含めません。

【使用、使用予定薬剤一覧】

区分	農薬名	成分数	区分	農薬名	成分数
育苗関係			本田防除		
苗箱剤					
除草剤					
			合計		

次回の “**「富富富」**通信(第2号)”は、7月7日頃の発行予定です。